

StrConv 関数

カタカナをひらがなに変換したり、大文字を小文字に変換、全角文字を半角文字にしたりします。文字列を統一するときに便利な関数です。

書式：**StrConv**([フィールド名],値)

値	変換内容
1	文字列を大文字に変換
2	文字列を小文字に変換
3	文字列の先頭の文字を大文字に変換
4	文字列内の半角文字(1 バイト)を全角文字(2 バイト)に変換
8	文字列内の全角文字(2 バイト)を半角文字(1 バイト)に変換
16	文字列内のひらがなをカタカナに変換
32	文字列内のカタカナをひらがなに変換
64	文字列をシステムの既定のコードページを使って Unicode に変換
128	文字列を Unicode からシステムの既定のコードページに変換

応用

StrConv 関数を複数組み合わせることが可能です。

書式：**StrConv**(StrConv([フィールド名],値),値)

例：**StrConv**(**StrConv**([ROMAJI],8,3)と関数を記述した場合、

Romaji と最初に全角文字 (2 バイト) を半角文字 (1 バイト) に変換し：値 8
文字列の先頭の文字を大文字に変換：値 3

補足：値 16 は国別情報の設定が日本の場合のみ有効です。

：値 8 は国別情報の設定が中国、韓国、および日本の場合に適用されます。

：値 64 および 128 は通常使用しません。Macintosh. では使用できません。